

EBLM 委員会報告

2009年3月19日

委員長 市原 清志

報告内容

1. 第1回 EBLM 委員会の議事

日時：第55回日本臨床検査医学会総会会期中
平成20年11月29日（土）1時間半

場所：名古屋国際会議場

議事：1) EBLM 委員会の活動の基本指針を討議

2) 活動計画（平成21、22年度）

- ・EBLMの基礎となるデータ解析技術の普及を目指した教育セミナーの開催
実践的なセミナーを毎年総会時に開催
- ・検査診断学に関する応用データ解析技術のセミナーを開催
第1回を平成21年4月3日に宇部で開催（下記）
- ・EBLMのための検査診断エビデンスの公開
現在進行中のアジア地域の大規模調査結果を豊富なEBLMのエビデンスとして、Web上で公開予定（平成21年度末を予定）
- ・EBLMの基礎技術・応用技術のテキストの刊行
臨床検査に役立つ応用データ解析を中心にまとめる
- ・検査診断エビデンスを得るための一次研究の推進
“検査疫学データベース”の構築とその公開を模索

3) 本学会内の関連委員会との連携

各委員会のニーズを再確認し、これまでの実態・実績を調べ対応を検討

2. EBLM 委員会企画教育セミナーの開催

テーマ：「臨床検査医学のための多変量解析入門」

日時：第55回日本臨床検査医学会総会会期中
平成20年11月30日（日）午前9～16時（6時間）

場所：名古屋国際会議場

参加者：31名

内容：講義＋演習（ノートパソコン持込）

1) 臨床検査医学における研究デザインと偏り（50分）

山口大学医学部 石田 博

2) 重回帰分析の理論と臨床検査の変動要因の解析（130分）

山口大学医学部 市原清志、 同工学部 山下哲平

3) 多重ロジスティック分析の理論と臨床検査の診断特性の解析（90分）

順天堂大学医学部 三宅一徳、 山口大学医学部 市原清志

4) クラスタ分析の理論と病型分類の実際 (50 分)

高知大学医学部 片岡浩巳

5) 構造方程式モデリングによる病態と臨床検査成績の因果解析 (40 分)

大阪大学医学部 山西八郎

評価：受講者によるアンケート調査結果は好評であった（別紙）が、
時間配分が悪く、最後 2 題は時間不足であった。

次年度の開催では、テーマを限定し、より時間をかけて行うこととなった。

3. EBLM 委員会企画 第 1 回応用データ解析研究会の開催（予定）

テーマ：「新しいデータ解析技術の臨床検査医学への応用」

日時：平成 21 年 4 月 4 日（土）午後 3 時 40 分～6 時 40 分（3 時間）

場所：山口大学医学部 S 5 教室

1) 構造方程式モデリングによる病態と臨床検査成績の因果解析

大阪大学医学部 山西 八郎

2) グラフィカルモデリングの臨床検査への応用（60 分）

虎ノ門病院 稲田 政則

4. 第 2 回 EBLM 委員会の開催（予定）

日時：平成 21 年 4 月 4 日（土）午後 7 時～

場所：山口大学医学部保健学科会議室

議題：今後の活動計画について